平成29年度　環保協・公衛協共同事業

環境と健康のポスター・標語コンクール　最優秀賞作品紹介（順不同・敬称略）

平成29年度環境と健康のポスター・標語コンクール

推薦作品648点から95点が入選

ポスター46点・標語49点が選定される

10月13日、「平成29年度環境と健康のポスター・標語コンクール選考委員会」が公衆衛生会館で開催され、648点の推薦作品から、今年度の入選作品95点（ポスター46点、標語49点）が選定されました（**作品は2面3面参照**）。

今年度は、これまで実施してきた「私たちがすむ地球を守ろう」をテーマとした環境分野に加え、新たに「みんなでがんばる健康生活」をテーマとした健康分野を追加。小学校227校、中学校60校の参加があり、3万4千458点（ポスター：1万4千370点、標語：2万88点）の作品が公衛協に集まりました。

これら約3万4千点の作品は、各公衛協で選考され、ポスター301点、標語347点、合計648点が当協会に推薦されました。

● 応募数内訳および推薦数、入選数 ●

部門	応募数 環境	応募数 健康	応募数 合計	推薦数	入選数
ポスター	13,770	600	14,370	301	46
標語	17,966	2,122	20,088	347	49
合計	31,736	2,722	34,458	648	95

環境分野

●**最優秀賞** 呉市
広小学校 1年　田邊　美月

健康分野

けんこうは
よくたべよくねて
よくわらうこと

●**最優秀賞** 大竹市
大竹小学校1年
藤井　結仁

環境分野

ぼくのふく
おとうときたら
3だいめ。

●**最優秀賞** 福山市
道上小学校2年
坂本　琉偉

標語【小学校低学年の部】

●**最優秀賞** 坂町
坂小学校 5年　田下　葵

YOUTUBE
見すぎてねぶそく
注意しよう

●**最優秀賞** 三次市
八次小学校6年
池本　傑

これ以上
便利にしなくて
いいんじゃない？

●**最優秀賞** 廿日市市吉和
吉和小学校6年
栗田　和誠

標語【小学校高学年の部】

●**最優秀賞** 三次市
三次中学校 2年　髙田　さくら

朝食は
自分を創る
スタートだ

●**最優秀賞** 呉市
和庄中学校2年
横藤田　菫

スイッチOFFで
窓OPEN
一工夫で
未来を明るく

●**最優秀賞** 尾道市
日比崎中学校2年
藤井　伽璃

標語【中学校の部】

選考委員のコメント

選考委員会では、8人の選考委員がポスターと標語に分かれて審査を行い、公衛協の推薦作品648点から95点の受賞作品を選出しました。推薦作品には、子どもたちの純粋な気持ちや思いが表現された感性豊かな作品が多くみられました。選考委員のコメントは次のとおりです。

◆内田委員長（ポスター選考委員のコメント）広島大学大学院教育学研究科　造形芸術教育講座教授

今回より新たに健康分野が加わり、これまでの環境分野と共に、今までにない多様で新鮮な作品が多く見られました。しかし一方で、ポスターにおいては、優れた作品ながらキャッチコピーの文字の間違いで残念な結果になった作品も多くあり、今一度出品時での確認の必要性を強く感じました。

◆森嶋委員（標語）広島修道大学名誉教授

今年も子どもたちの豊かな感性を生かし、思いをそのまま伝える純粋な言葉で表現された多くの作品に出会いました。日々繰り返される何気ない生活の一場面を、大人が持たない新鮮な言葉で表現した作品が多く見られました。自分を取り巻く自然を思う優しさにあふれた心や、家族の健康を願う心を、いつまでも持ち続けて成長してほしいと思っています。

◆務中委員（標語）広島大学名誉教授

感性豊かな表現で取り組んでいたことに感心しました。特に中学校の部では、未来を見据えた活動のあり方を、新しいキーワードで表現したものが多く見られ、昨年より一歩前進したように思いました。

社会人たちは、この純粋な言葉に耳を傾けなければなりません。また、指導された先生方や保護者に敬意を表します。

◆田原委員（標語）中国新聞論説委員

小中学生が考えてくれる標語は、まだまだ新鮮な視点や響きがいっぱいあって驚きました。身の回りや地域の自然、そして地球に、子どもならではの目を向けて、疑問や心配を表現してくれています。素直な心で問い掛ける標語は、説教くさくならず、すっと心に入ります。頭の固い大人をドキッとさせ、反省させるものも。そのうえリズムが良くって、面白い。ぜひ声に出して読んでみて下さい。